

定期試験が終わると、いよいよ夏休みが始まりますね。色々予定を入れて忙しく過ごす人もいれば、のんびり過ごす人もいるでしょう。羽目を外し過ぎないように気をつけつつ、貴重な自由時間を満喫してくださいね。



“こころ”がさまよう時

社会福祉学部 福祉心理学科 専任講師 鴨澤あかね

村上春樹の『1Q84』という小説が昨年出版されてから話題になっています。この小説は、ある組織をめぐる様々なエピソードに、巻き込まれる2人の主人公を軸に物語が展開していきます。かつて、地下鉄サリン事件の被害者のインタビューを『アンダーグラウンド』という本にし、裁判の傍聴を続けている村上は、「特定の主義主張による“精神的な困り込み”のようなものが一番恐ろしい」とあるインタビューで語っています。そして「原理主義やある種の神話性に対抗する物語」を立ち上げていくことが作家の役割である、というのが『1Q84』を執筆した動機だということです。

この小説では“1Q84”という時代が“1984”という実際の時代とパラレルに、ないしはシンクロして描かれています。しかし“1984”の方が実際の時代、つまり現実なのか、というと、そこがよく分からないという不思議な物語です。前述した村上の“精神的な困り込み”という、“精神”は目にみえないものですし、もちろん形にして取り出せるものではありません。その見えないものに、動かされ、影響されながら生きる存在、それが人間であり、その生をいかに生き抜くかということ、村上の物語は問いかけている、と私は思います。

この“精神”は“こころ”と置き換えてもよいかもしれません。人間の多くは、何らかの“こころの拠り所”や安心感を求め、拠り所がない状況で生きていくことは非常に苦しく、困難であるといわれます。でも、目にみえない“こころ”、その拠り所っていったい何？と言われた時に、それを形にして証明することは基本的に不可能でしょう。だとしても体験的に言えば、何かがある、という感覚を持つことはあり得ますし、これを読んでいるみなさんにも、その感覚はなんとなくわかっていただけないでしょうか。

この“こころの拠り所”のつかみ所がなくなって、“こころ”がさまよっている時に、村上の言うところの、原理主義やある種の神話性のもとに精神的な困り込みにあったなら？その世界に引きずり込まれ、ある種の安心感と引き替えに、場合によっては人の命を奪うことさえもいとわない人間になる可能性を、あなたは否定することができるでしょうか？

『1Q84』の主人公達は、理屈では理解できない様々な出来事に翻弄されながらも、自らの体験と感覚を信じ、客観的な事実がどうであれその体験こそが真実である、という気持ちを持ちながら、体験から目をそらすことなく自己に踏みとどまって生きる人たちです。

「心理カウンセリング」を教えたり、実際にクライアントの相談に乗ることを仕事にしている私にとって、村上春樹の描く世界は、そこから多くのことを学び、考えさせられる貴重な体験になっています。



一人暮らしのマナー

大学生になって、一人暮らしを始めた方も多いと思います。一人暮らしは自由な反面、ご近所のことを考えずに行動し、迷惑を掛けてしまう場合もあるようです。よくある迷惑行為としては、騒音（友達と騒いだり、テレビや音楽を大きな音で観たり聴いたりする。アパートでは意外と音が響くものです。）、ゴミ捨てるルール違反（収集日時や分別方法、指定ゴミ袋を守らない。ゴミが収集されなければ、悪臭がしたり、カラスが突いて中身が散乱したりすることもあります。）、自転車の迷惑駐輪（決められた場所に置かない。通る人の邪魔になったり、美観を損ねたりします。）、ポスト周りのポイ捨て（チラシなどをその場に捨ててしまう。美観を損ねたり、不審火の原因になることがあります。）、水漏れ（洗濯機の給排水ホースからの水漏れや、冬季に水抜きをしなかった為の水道管破裂。下の部屋にまで水が漏れて賠償問題に発展することもあります。）などが挙げられます。

ちょっとくらいならいいだろうと安易に考えず、社会の一員として責任を持ってマナーを守り、一人暮らしを楽しみましょう。

相談室の開室時間

月曜日から金曜日 9:00～17:00
スタッフは2名体制

月	火	水	木	金
近田 白坂	近田 安部	近田 小林	近田 安部	小林 白坂

8月20日～9月17日の間は、10:00～17:00の開室、相談スタッフは1名体制となります。詳しくは、大学のHPにてご確認ください。

相談したい方は、学生相談室を直接訪ねて、スタッフに声をかけてください。電話やメールで事前に予約を入れることもできます。科目等履修生、研究生、休学中の方でも利用できます。

相談の秘密は守りますので、どうぞ安心してご利用ください。



相談室の中に「やすらぎルーム」と「リラルーム」というオープンスペースがあります。特に相談がない方でも、空き時間や昼休みなどに利用できます。飲み物も用意されています。静かにゆっくり過ごしたいと思う時は、どうぞご利用ください。



心の健康相談

学生相談室では、本学の上野武治教授（精神科医）による「心の健康相談」を月2回（第2、第4木曜日12時30分～14時30分）行なっています。精神医学的な立場からのアドバイスを受けてみたい方はどうぞご利用下さい。予約優先ですが、空きがあれば当日来室して相談することも可能です。

【今後の実施予定日】7月22日、8月5日、9月30日、10月14日、10月28日

編集後記

長い休みになると、どうしても生活リズムが崩れやすくなるものです。自分で自分の生活を上手に調整して過ごしてください。リフレッシュして後期を迎えられるといいですね。（安）



〒004-8631

札幌市厚別区大谷地西2-3-1

北星学園大学 北星学園大学短期大学部

学生相談室

直通TEL & FAX 011-891-3929

Eメール: gakuseisoudan@hokusei.ac.jp